

# 赤十字 NOW

千葉 | 2017 Vol. 37

発行所 / 日本赤十字社千葉県支部 〒260-8509 千葉市中央区千葉港5-7 TEL 043-241-7531 FAX 043-248-6812



私  
 たち  
 は、  
 忘  
 れ  
 ない。  
 東日本大震災記録写真展、ふたたび



平成29年  
**2月28日(火)**  
 ▼  
**3月5日(日)**  
 千葉県立美術館 / 第4展示室  
**入場無料**

あの未曾有の大災害から  
 6年が経とうとしている。  
 東北三県を中心とした被災地では  
 復興は進みつつあるものの  
 いまだに故郷に帰れない人も多い。  
 また、私たちの住む千葉県でも  
 各地で甚大な被害があり  
 旭市では多くの方が犠牲となった。  
 そして昨年4月には那本地震一。  
 あの日から1度目の3月11日を前に  
 いま一度大災害を振り返り  
 その記憶と教訓をつないでいこう。

**+** 日本赤十字社 千葉県支部 千葉県立美術館  
 Japanese Red Cross Society CHIBA PREFECTURAL MUSEUM OF ART

千葉県立美術館で展示終了後は、千葉県支部1階「ギャラリー系杉」で展示いたします。(無料)

## CONTENTS 2017 vol.37

**2** 東日本大震災時の  
 日本赤十字社の対応  
 ・東日本大震災時の  
 千葉県支部の活動

**3** 日本赤十字社の  
 救護活動  
 ・もっと知りたい!  
 赤十字の救護活動

**4** 赤十字奉仕団  
 ~特殊奉仕団の活動~  
 ・青少年赤十字  
 ~千葉県青少年赤十字スタディー・センター~  
 ・国際活動  
 ~海外での救急法普及支援事業~

**5** お知らせ  
 ・成田赤十字病院  
 ふれあい広場2016を開催しました  
 ・私たちの献血キャンペーン  
 を実施しました

**6** ありがとう125年これから  
 もよろしく願います  
 ・平成29年4月から「社員」の  
 名称が「会員」になります。

# 東日本大震災時の日本赤十字社の対応

日本赤十字社は、被災地での医療救護活動、災害救援物資の配布、義援金の募集・受付、ボランティア活動、こころのケア、仮設住宅への生活家電セットの寄贈、輸血用血液の供給などさまざまな活動を行いました。



医療救護活動



救援物資の配分



赤十字奉仕団による炊き出し



生活家電セットの寄贈

## 東日本大震災時の千葉県支部の活動

千葉県内においても、最大震度6弱を観測し、地震、大津波、液状化などにより死者20名、行方不明者2名、建物全壊801棟、半壊10,086棟他甚大な被害がもたらされました。

千葉県支部では、地震発生後ただちに東北方面に向けて医療救護班等を派遣するとともに、備蓄していた毛布等を県内の被災地に搬送しました。また、多くの帰宅困難者がいるとの情報を得て、東京ディズニーランド、成田国際空港に、医療救護班を派遣しました。

医療救護では、救護班が発災直後から3月末まで宮城県石巻市地域を中心に活動しました。4月以降は岩手県釜石市に活動場所を移し、7月末まで救護活動及びこころのケア活動を行いました。7月以降は福島県における原発事故避難民の警戒区域への一時立ち入りに伴う医療救護活動を展開しました。



仮設診療所での救護活動

### 救護班等の派遣状況

救護班	こころのケア要員	病院支援等
21個班(147名)	12名	85名

### 赤十字奉仕団・赤十字防災ボランティアの活動状況

県内での活動	6,583人	非常炊き出し、義援金募集、救援物資仕訳、がれき撤去等
県外での活動	598人	ボランティアセンター運営支援、被災家屋の清掃、土砂の片付け等

### 救援物資の配布状況

毛布	日用品	ガーゼケット	バスタオル	敷布	安眠セット	緊急セット
15,670枚	2,120セット	930枚	1,010枚	700枚	1,000セット	366セット

※日本赤十字社千葉県支部 東日本大震災救護活動報告数値

#### 千葉県支部の最近の災害救護活動

H28.4	熊本地震
H27.9	関東・東北豪雨災害
H23.3	東日本大震災
H20.6	岩手・宮城内陸地震
H19.7	新潟県中越沖地震
H16.10	新潟県中越地震



「あやとり」でこころのケアを行う看護師



自衛隊のヘリによる患者搬送

#### 赤十字豆知識 日本赤十字社では古着や食料品などの救援物資は受け付けないと聞きましたがどうしてですか？

被災された方のニーズは時間の経過とともに刻々と変わっていくため、せっかくお申し出頂いた救援物資が被災地では必要とされない場合があるためです。皆さまから寄せいただいた寄付金で整備した救援品を被災者の方々にお配りするほか、その他の物資についても被災された方々のニーズに応じて随時調達、配分を行っています。

# 日本赤十字社の救護活動

## 歴史

### (1) 戦時救護

日本赤十字社の前身である博愛社の創立の契機となった西南戦争(1877年 {明治10年})以来、日清戦争、日露戦争、第一次世界大戦、第二次世界大戦などで傷病者の救護等に当たってきました。

### (2) 災害救護

平時の災害救護については、1888年(明治21年)7月に発生し、約500人の死者を出すなど大きな被害が生じた磐梯山の噴火災害が最初で、それ以降、地震災害、噴火災害、風水害等、あらゆる災害に際してはもちろん、航空機・船舶の遭難、列車事故等の交通災害、ガス爆発等の産業災害などで多様な救護活動を展開してきました。

## 日本赤十字社の災害救護業務

- 1) 医療救護
- 2) 救援物資の備蓄及び配分
- 3) 災害時の血液製剤の供給
- 4) 義援金の受付及び配分
- 5) その他災害救護に必要な業務

- ・ 赤十字防災ボランティアによる避難所での被災者支援、炊き出し、救援物資の輸送・配分、情報収集などの活動
- ・ 被災者への心的支援としての「こころのケア」活動



明治21年 磐梯山噴火



平成7年 阪神淡路大震災

## もっと知りたい!赤十字の救護活動

日本赤十字社千葉県支部では、火災・風水害・地震、その他の自然災害により被災された住民の皆さまに対し、各種救援物資及び見舞金を支給しています。



身近な災害にも  
対応しているんだね。

### ●全壊・全焼、流出

毛布、敷布、ガーゼケット、バスタオル	被災者1人につき1枚
日用品セット	被災一世帯あたり1組
見舞金	被災一世帯あたり5,000円

※半壊・半焼・床上浸水に対する救援物資等の配分も行っています。  
詳細はお住まいの市区町村の赤十字担当窓口にご確認ください。

### ●避難所への避難 (避難所に一晚以上避難することとなった場合)

毛布、バスタオル	被災者1人につき1枚
日用品セット	被災一世帯あたり1組

※お問い合わせ先：お住まいの市区町村の赤十字担当窓口



日本赤十字社が被災地で行う医療救護活動や配付する救援物資は皆さまからのご寄付によってまかなわれています。

### 赤十字豆知識 なぜ、災害時に赤十字は災害救護を行うの？

赤十字は「人間のいのちと健康、尊厳」を守ることを使命とし、紛争・災害・病気などで苦しむ人を救うためあらゆる支援をしています。特に、全国には92病院、6万人の医療スタッフがあり、過去から医療救護の大きな役割を担っております。また、災害対策基本法においても「指定公共機関」として救助活動に協力することとされています。

# 赤十字奉仕団 ～特殊奉仕団の活動～

赤十字奉仕団は、活動内容・活動地域・構成者によって  
地域奉仕団・青年奉仕団・特殊奉仕団の三つの種類に分かれます。



救急法を教える安全奉仕団



県内マラソン大会の臨時救護を行う特殊救護奉仕団

## 特殊奉仕団

多種多様なニーズがあふれる現代社会では、専門技術をもつボランティアの必要性も高まっています。特殊奉仕団は、様々な専門技術をもつ人々や、特定の奉仕団活動のために集まった人々で構成されています。

# 青少年赤十字～千葉県青少年赤十字スタディー・センター～

青少年赤十字(Junior Red Cross: JRC)は、園児・児童・生徒が赤十字の精神に基づき、健康・安全、奉仕、国際理解・親善を実践目標として、進んでリーダーシップを発揮し、「気づき、考え、実行する」態度を身につけながら、学校(園)や地域において様々な活動を行っています。

スタディー・センターでは3泊4日の活動を通して様々な事柄に気づき、問題の解決策を考え、実行に移すことで、互いに心の通った生活、ボランティア活動が広がっていくことを学びました。



救急法を学ぶ JRC メンバー

# 国際活動 ～海外での救急法普及支援事業～

## 日本赤十字社の国際活動

現在、赤十字・赤新月社は、世界190の国と地域にあり、この世界的ネットワークを活用し、各国の赤十字・赤新月社や国際赤十字・赤新月社連盟、赤十字国際委員会を通じ、緊急救援、復興支援、開発協力等を行っています。

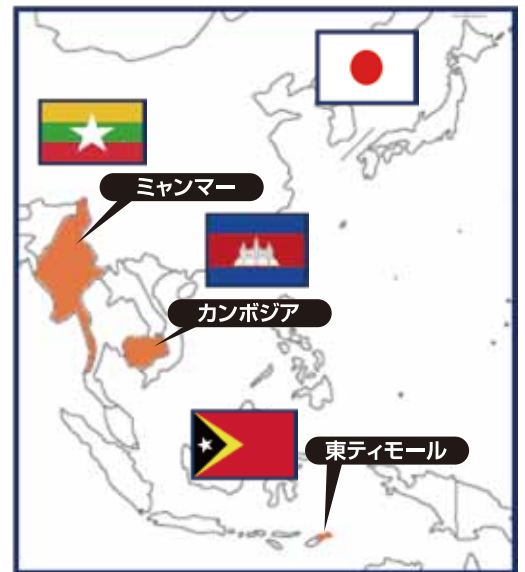
日本赤十字社では、東ティモール・カンボジア・ミャンマー赤十字社への救急法普及事業を支援しており、千葉県支部でも昨年11月に東ティモール赤十字社へ救急法普及支援のため職員を派遣しました。



一次救命処置の指導をする千葉県支部職員



三角巾を使用して頭の手当を行う受講生



## 赤十字豆知識 千葉県にはどのような赤十字奉仕団があるのですか？

市区町村単位で組織される地域奉仕団、18歳から35歳までの団員で構成される青年奉仕団、特殊奉仕団として、安全奉仕団、看護奉仕団、語学奉仕団、成田赤十字病院ボランティア会、特殊救護奉仕団、安全水泳奉仕団、青年赤十字賛助奉仕団があります。(詳しくは日本赤十字社千葉県支部ホームページをご覧ください。)

# 成田赤十字病院ふれあい広場 2016 を開催しました

成田赤十字病院

平成28年12月10日(土)、地域のみなさまと病院職員の交流を通じて、赤十字病院を知っていただくとともに、日ごろお世話になっている皆さまに感謝する機会として「ふれあい広場」を開催しました。

## 院内探検ツアー



## 看護体験



## 薬ができるまで体験



ハートちゃん、けんけつちゃん、うなりくんが来てくれました。



病院内のお仕事体験のほか、災害時の炊き出し体験や義肢装具を装着して歩いてみる、石膏で指の型取りをするなど様々な体験コーナーを設けました。また、救護服を着用しての救急車や血液供給車への乗車は子どもたちに大好評!

寒い時期での開催となりましたが、大勢の皆さまにご来場いただき、大盛況となりました。

# はたちの献血キャンペーンを実施しました

千葉県赤十字血液センター

平成29年1月15日(日)、イオンモール木更津(木更津市)において千葉ロッテマリーンズご協力のもと、「はたちの献血キャンペーン」イベントを実施しました。イベントには今年成人式を迎えた、岩下大輝選手と脇本直人選手が登場!トークショーや両選手のサイン入り献血グッズが当たるじゃんけん大会等で大いに盛り上がりました。また、イベントに合わせて実施した献血には86人の方にご協力をいただきました。

ご来場いただいた皆さま、献血にご協力いただいた皆さま、本当にありがとうございました。



©CHIBA LOTTE MARINES



## 【はたちの献血キャンペーンとは?】

厚生労働省・都道府県・日本赤十字社の主催により、毎年1月1日から2月末まで展開されるキャンペーンです。献血者が減少しがちな冬季に安全な輸血用血液製剤を安定的に確保するため、新たに成人を迎える「はたち」の若者を中心に、広く献血に関する理解と協力をよびかけるものです。

# 献血女子会「ホッとして!Good」を開催しました

千葉県支部



平成27年度、献血にお申込みいただき、ご協力頂けなかった方は約4万人。その内の約40%が低ヘモグロビンの女性でした。献血に限らず元気に生活するために食生活を見直し、健康な身体づくりを目指しましょう!



女性会員だけで構成される千葉ゆうきのライオンズクラブと共同で開催している献血女子会。5回目の今回は災害発生時に役立つハイゼックス(非常用炊き出し袋)を使った炊き出し体験のほか、管理栄養士による災害時の食・冬に起こるトラブルに対する食事についての講義、災害非常食の試食会が行われ、集まった女性参加者達は楽しみながら災害時だけでなく日頃から役立つ知識を学びました。

# ありがとう125年 これからもよろしくお願ひします

日本赤十字社千葉県支部は、明治25年11月16日に千葉県委員部として創立されました。

国内外の戦地へ救護班を派遣し、身を挺して人命救助を行うなど辛く厳しい時代を経て、災害救護や青少年赤十字、各種講習会など現在に繋がる活動を確立させ、赤十字思想の普及に力を注いでまいりました。

今後とも災害に対する救護体制の一層の強化を図るほか、国際活動など幅広い分野で更なる躍進をしてまいります。

赤十字活動は、財政面でご支援いただく国民や企業・団体の皆様と、活動の担い手である赤十字奉仕団をはじめとするボランティアの皆様など多くの方々によって支えられています。

125周年を迎えることが出来たのも、皆さまの暖かいご支援ご協力のおかげです。これからもどうぞよろしくお願ひいたします。



支部最初の社屋(明治36年竣工)



昭和2年以降の社屋



昭和46年以降の社屋



現社屋(平成21年完成)

## 平成29年4月から「社員」の名称が 「会員」になります。

赤十字が行う活動は、皆様からの資金協力とボランティアで支えられています。

これまで赤十字の支援者を「社員」とお呼びしていましたが、平成29年4月から呼称を「会員」と改めます。

支援いただける皆様は、単なる協力者ではなく、赤十字のかけがえのないパートナーです。

今後も皆様にとってわかりやすい、参加しやすい赤十字を目指します。

### なぜ？

社員という名称が、株式会社などの社員や日本赤十字社の職員を連想することがあるので、わかりやすくしました。

### どう変わる？

支援者の方々は、赤十字の会員の一人として、これまでどおり、年500円以上を目安としたご協力により、日本赤十字社の活動へのご支援をお願いいたします。

その中で、年2,000円以上ご協力いただける方々は、日本赤十字社の運営に参画する支援者として登録させていただき、赤十字事業の活動内容をよりご理解いただけるよう、機関紙を送付します。

